

山形県金融経済概況

1. 全体感

山形県の景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。

最終需要の動向をみると、公共投資は、高水準で推移している。設備投資は、減少している。個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに回復している。住宅投資は、弱い動きとなっている。この間、生産は、持ち直しの動きが一服している。雇用・所得環境は、改善している。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は、前年を上回っている。

2. 需要項目別の動向

(1) 公共投資・・・高水準で推移している

5月の公共工事請負金額は、県や市町村、国などの発注が増加したため、前年を上回った。

(図表1) 公共工事請負金額 前年比、%

	2025年 6月	9月	12月	2026年 3月	4月	5月
山形県	43.2	25.4	85.7	▲6.2	▲21.2	82.1

〈資料〉東日本建設業保証(株)

(注) pは速報値、rは前回公表から掲載計数を改訂したもの(以下同じ)。

(2) 設備投資・・・減少している

3月短観における2026年度の設備投資計画(全産業)をみると、製造業は増加したものの、非製造業が減少したため、前年度を下回る計画となっている。

この間、4月の建築着工床面積(民間非居住用)は、宿泊・飲食サービスなどが増加したものの、製造業や医療・福祉などが減少したため、前年を下回った。

(図表2) 県内企業の設備投資額(2026年3月山形短観) 前年度比、%

山形県	2024年度(実績)	2025年度(計画)	2026年度(計画)
全産業	20.3	▲35.4<▲9.2>	▲5.0
製造業	18.1	▲33.1<▲11.8>	1.2
非製造業	24.5	▲39.6<▲3.6>	▲17.3

〈資料〉日本銀行山形事務所

()内は前回調査比修正率、%

(図表3) 建築着工床面積(民間非居住用) 前年比、%

	2025年 6月	9月	12月	2026年 2月	3月	4月
山形県	▲63.8	54.5	81.0	▲60.6	▲45.7	▲59.0

〈資料〉国土交通省

(3) 個人消費・・・一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに回復している

4月の販売額をみると、百貨店・スーパー（全店ベース）は、前年を下回った。一方で、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ホームセンターは、前年を上回った。

(図表4) 百貨店・スーパー販売 前年比、%

山形県	2025年 7～9月	10～12月	2026年 1～3月	2026年 2月	3月	4月
全店	3.7	2.7	1.0	1.3	▲0.6	▲0.1
既存店	3.7	2.7	1.4	1.8	▲0.2	0.4

〈資料〉経済産業省

5月の乗用車新車新規登録・届出台数は、前年を上回った。

(図表5) 乗用車新車新規登録・届出台数 前年比、%

山形県	2025年 6月	9月	12月	2026年 3月	4月	5月
乗用車 合計	▲0.3	▲7.2	▲3.0	▲15.7	6.6	0.5
普通車	▲9.6	▲6.9	▲15.8	▲18.5	9.6	6.0
小型車	21.4	▲14.6	25.2	▲24.4	18.9	3.0
軽四輪	▲3.1	▲3.4	▲4.4	▲7.8	▲4.7	▲6.1

〈資料〉東北運輸局

この間、サービス消費は、飲食・宿泊を中心に緩やかに増加している。

(4) 住宅投資・・・弱い動きとなっている

4月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲いずれも増加し、前年を上回った。

(図表6) 新設住宅着工戸数 前年比、%

	2025年 6月	9月	12月	2026年 2月	3月	4月
山形県	▲11.5	▲14.5	10.3	▲16.7	▲39.1	25.0
持家	▲36.6	2.1	▲9.6	0.6	▲37.6	33.6
貸家	16.2	▲41.5	51.0	▲31.3	▲39.6	24.1
分譲	47.8	20.6	9.1	▲43.3	▲43.2	4.3

〈資料〉国土交通省

3. 生産・・・持ち直しの動きが一服している

3月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月を上回った。業種別にみると、情報通信機械や窯業・土石など7業種が低下したものの、電子部品・デバイスや化学など15業種は上昇した。在庫指数（季節調整済）は、前月を下回った。

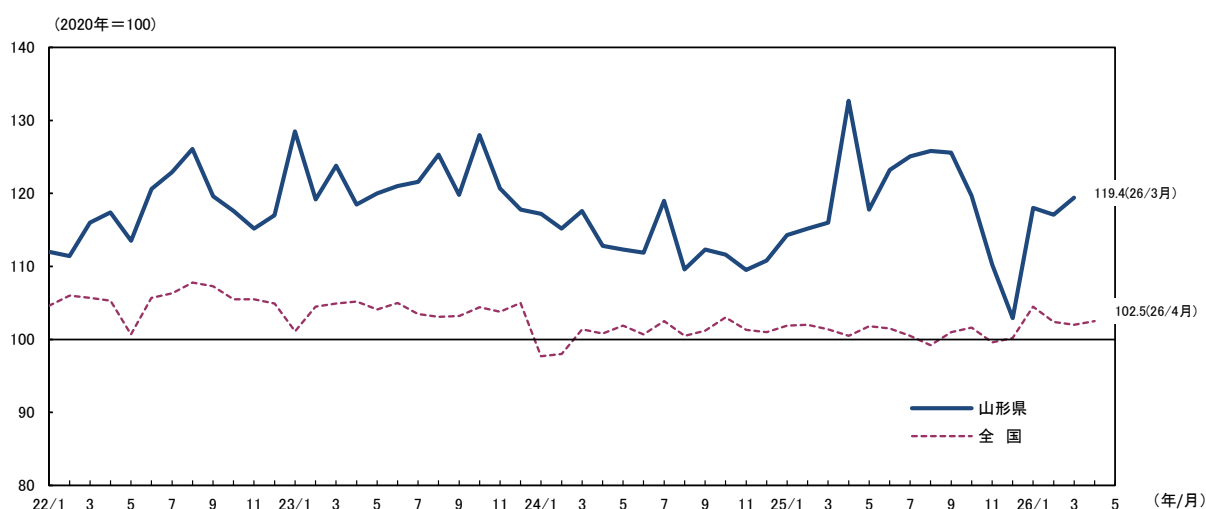
（図表7）鉱工業指数

2020年基準

山形県		2025年 6月	9月	12月	2026年 1月	2月	3月
生 産	季節調整済前月比%	4.6	▲0.2	▲6.6	14.7	▲0.8	p 2.0
	原指数前年比%	12.8	14.6	▲4.8	0.8	1.6	p 5.5
在 庫	季節調整済前月比%	▲1.6	1.3	1.1	▲1.4	6.4	p ▲3.8
	原指数前年比%	▲3.3	4.4	7.8	5.0	13.1	p 13.0

〈資料〉山形県

（図表8）鉱工業生産指数（季節調整済）の推移



〈資料〉経済産業省、山形県

4. 雇用・所得環境・・・改善している

4月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.29倍となった。業種別の新規求人数をみると、サービスや医療・福祉などが増加した一方、卸・小売や宿泊・飲食サービスなどが減少した。

（図表9）雇用関係指標（その1）

倍、%

山形県	2025年 7～9月	10～12月	2026年 1～3月	2026年 2月	3月	4月
有効求人倍率	1.26	1.29	1.28	1.29	1.28	1.29
完全失業率	r 2.1	2.0	2.2	—	—	—

〈資料〉総務省、山形労働局

（注）有効求人倍率の四半期データは、四半期末の水準。

3月の常用雇用指数は前年を上回った。所定外労働時間は前年を下回った。

(図表 10) 雇用関係指標 (その 2) 2020 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山形県	2025年 6月	9月	12月	2026年 1月	2月	3月
常用雇用指数	0.8	▲0.3	0.8	0.2	1.5	0.8
所定外労働時間	▲3.9	▲11.8	▲14.9	▲6.4	▲15.5	▲12.9

<資料>山形県

3月の現金給与総額(名目賃金指数)、きまって支給する給与ともに、前年を上回った。

(図表 11) 所得関係指標 2020 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山形県	2025年 6月	9月	12月	2026年 1月	2月	3月
現金給与総額 (名目賃金指数)	0.5	1.9	1.4	0.4	0.6	0.2
きまって支給 する給与	4.5	0.7	0.9	0.5	0.6	1.1

<資料>山形県

5. 企業倒産・・・倒産件数は、概ね前年並みとなっている

5月の企業倒産(負債額 10 百万円以上)は 6 件、負債総額は 7.9 億円となった(前年同月は 13 件、16.6 億円)。

(図表 12) 企業倒産 件、億円

山形県	2025年 6月	9月	12月	2026年 3月	4月	5月
件数	5	6	4	10	6	6
負債総額	5.0	2.6	3.6	7.3	2.4	7.9

<資料>(株)東京商工リサーチ

6. 物価・・・前年を上回っている

4月の消費者物価指数(山形市、生鮮食品を除く総合)は、前年を上回った。

(図表 13) 消費者物価指数 2020 年基準、前年比、%

山形市	2025年 6月	9月	12月	2026年 2月	3月	4月
総合	3.1	2.2	1.4	0.5	1.0	0.9
生鮮食品を除く総合	2.7	2.3	1.8	0.9	1.5	1.0

<資料>山形県

7. 金融

4月の県内預金(銀行+信用金庫)は、前年を上回った。県内貸出(銀行+信用金庫)も、前年を上回った。この間、貸出金利は、上昇している。

(図表 14) 預金、貸出金 %

山形県	2025年 6月	9月	12月	2026年 2月	3月	4月
実質預金+CD (末残前年比)	▲0.5	▲0.3	▲0.1	1.0	0.7	1.2
貸出金 (末残前年比)	2.2	2.4	1.3	1.7	2.2	2.6

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)・国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)、信用金庫の県内全店舗を集計。
 ・銀行勘定(国内銀行についてはオフショア勘定を除く)を集計。
 ・実質預金とは、表面預金から未決済の小切手・手形を引いたもの。
 ・貸出金については、中央政府向け貸出を除く。
 ・合併・新規出店、撤退等による残高調整は行っていない。

(図表 15) 貸出約定平均金利 %ポイント

山形県	2025年 7~9月	10~12月	2026年 1~3月	2026年 2月	3月	4月
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	0.017	0.036	0.079	0.032	0.038	0.028

4月末水準
1.289%

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)山形県内に本店を置く地銀・地銀Ⅱの貸出金利(銀行勘定の円貸出のうち、金融機関向け貸出を除いたもの)を貸出金残高(同)で加重平均したもの。

以上

(内容に関するお問い合わせ先)
 日本銀行山形事務所
 TEL: 023-622-4004